



南海電気鉄道高野線

連続立体交差事業

(浅香山駅～堺東駅付近)

に関する検討状況説明資料



令和2年3月

堺市 建設局 道路部 連続立体推進課

本資料は、南海電気鉄道高野線連続立体交差事業（浅香山駅～堺東駅付近）の検討状況説明会でご説明を予定していたものです。

3月2日以降には堺市のホームページにも掲載予定です。

<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/rittaisuishin/index.html>

【問い合わせ先】

堺市建設局道路部連続立体推進課

堺市役所高層館17階北側

担当：そうだ宗田、ふかやま深山 直通：072-228-7573



高野線連立の概要



- ◆ 事業延長 : 約3.0km
- ◆ 除却踏切数 : 10箇所
- ◆ 高架化される駅 : 浅香山駅、堺東駅

本事業は、10箇所の踏切を除却し、合わせて駅前広場や都市計画道路を整備することで、安全で円滑な交通の確保や本市の玄関口としてふさわしいまちづくりを推進し、都市の活性化を図るものです。

事業主体は堺市で、南海電気鉄道(株)と共同して事業を進めます。



環境影響評価の概要

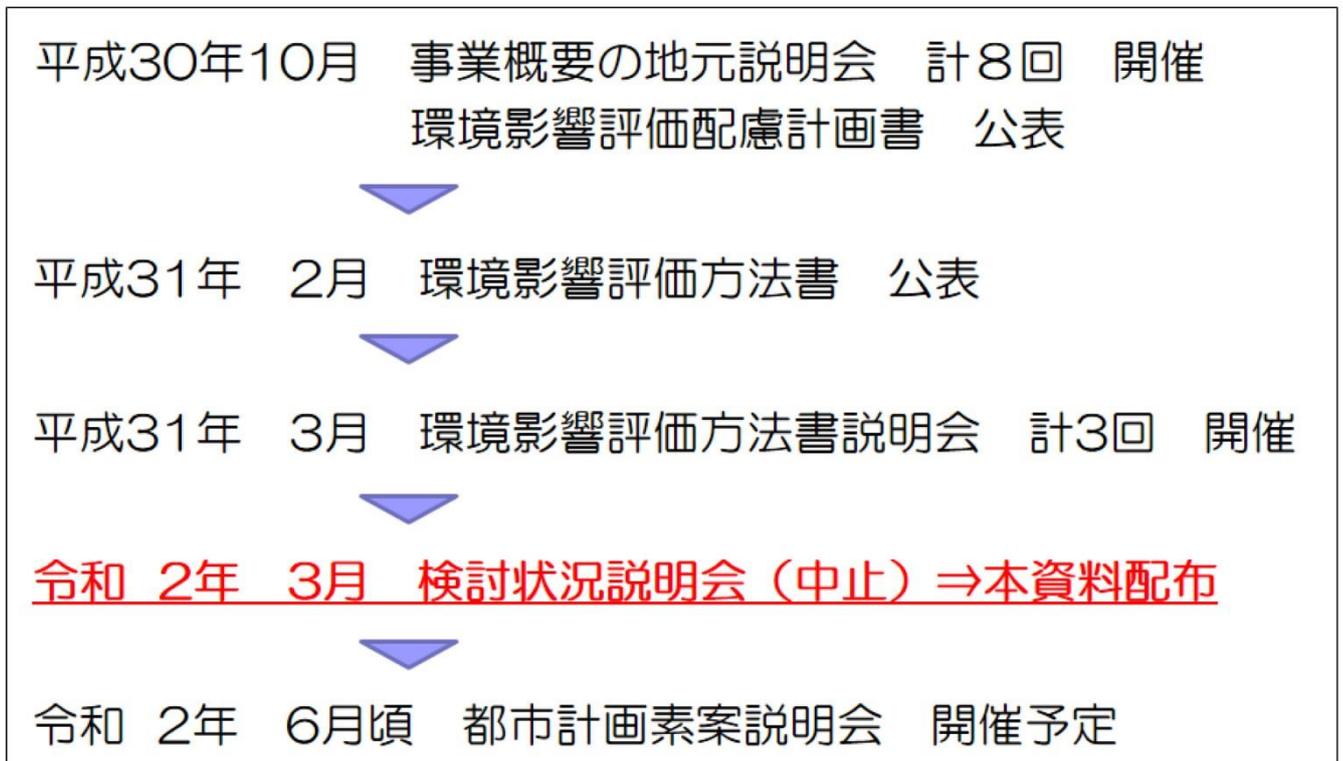


環境影響評価の手続きでは、各段階で頂いたご意見を踏まえて、調査・予測・評価を実施中です。今後は、準備書、評価書を作成します。

また、この環境影響評価の手続きの中で世界文化遺産への影響の程度も確認します。



説明会の概要



これまで開催した説明会の中で、なるべく早い段階での状況報告をすべきとのご意見を受けて、都市計画に先立った説明会を予定していましたが、感染症拡大対策として本資料配布を持って状況報告とします。

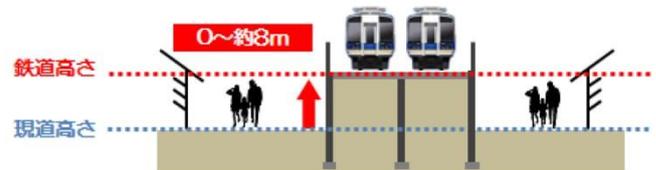
今後、令和2年6月頃に都市計画素案と環境影響評価準備書説明会を予定しています。



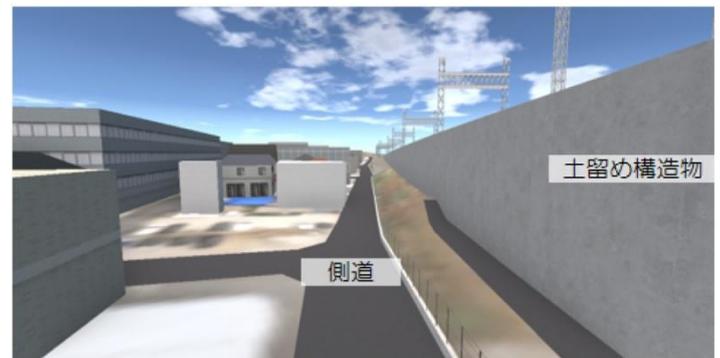
鉄道構造の検討状況



盛土構造概略図



盛土構造イメージ



周辺地盤と計画の鉄道との高低差が比較的小さいところは盛土構造になり、周辺地盤との高低差は、浅香山付近で0～約8m、堺東付近で約4～約11mになります。

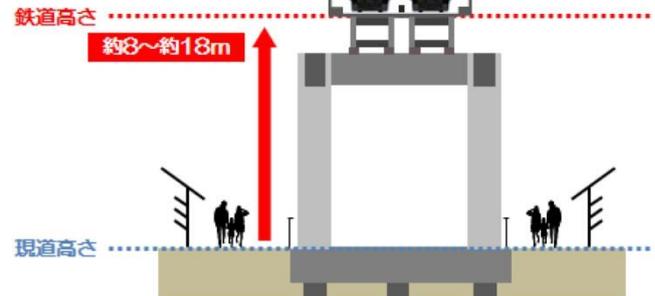
また、鉄道の両側に幅6mの側道を設置します。



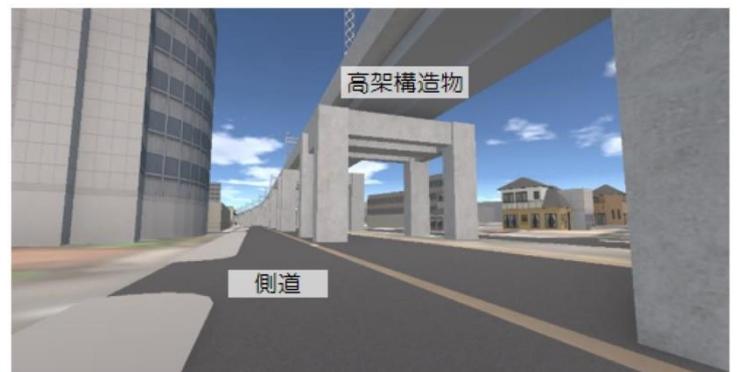
鉄道構造の検討状況



高架構造概略図



高架構造イメージ



周辺地盤と計画の鉄道との高低差が、比較的大きいところは高架構造になり、鉄道高架の両側に幅6mの側道を設置します。

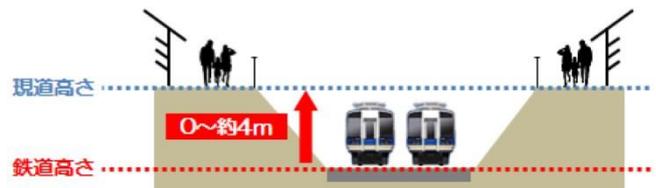
堺東駅付近は直上方式を行うことから、最大で約18mの高さになります。堺東周辺には、大型商業施設や大型集合住宅があることから、側道を設置しない部分があります。



鉄道構造の検討状況



掘割構造概略図



掘割構造イメージ

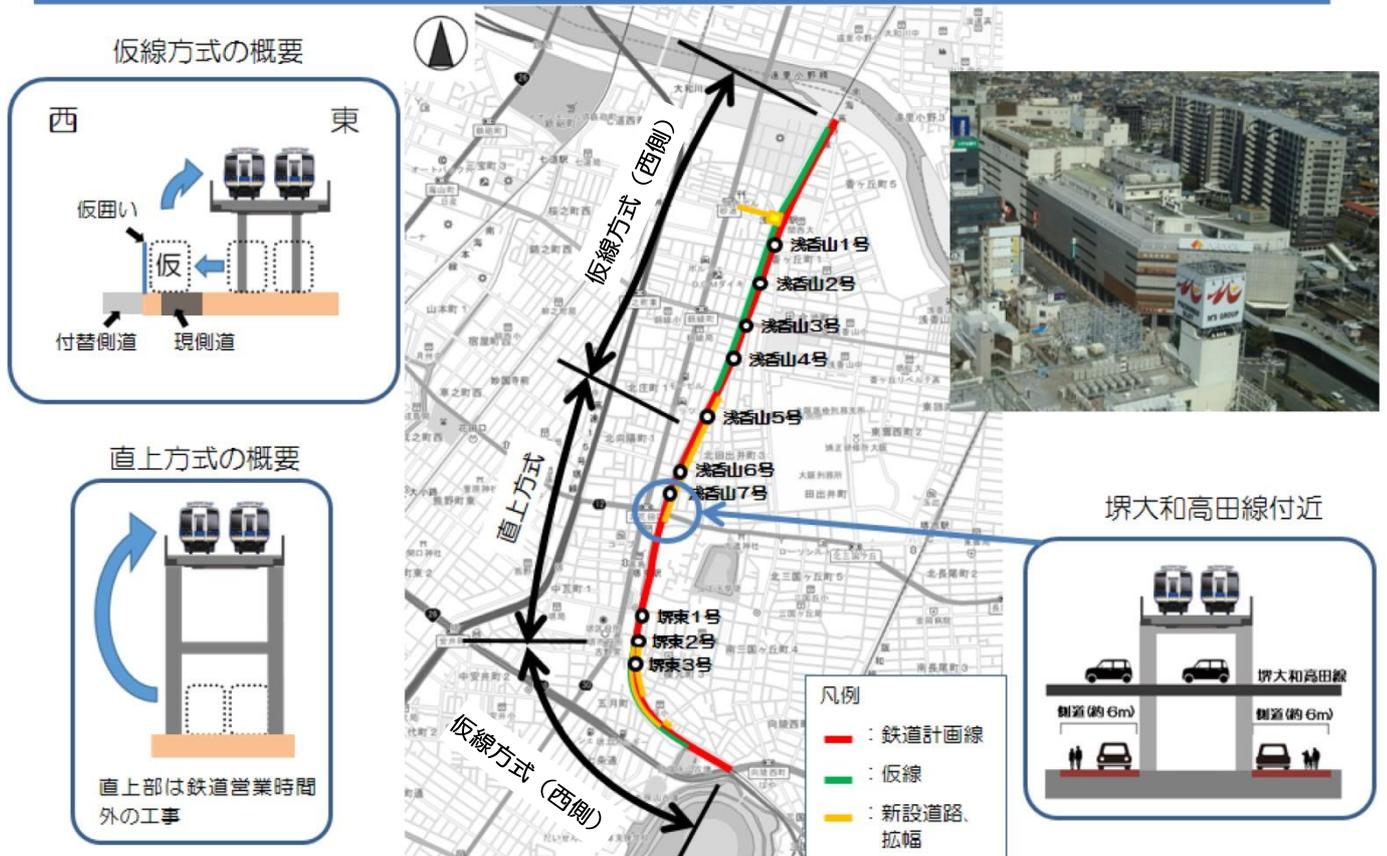


周辺地盤より鉄道が低くなる場所は掘割構造になり、0～約4mの高低差がつきます。現在の榎小学校付近です。

また、鉄道の両側に幅6mの側道を設置します。



施工方法の検討状況



図の緑色の区間は、仮の線路に電車を切り替えている間に高架構造物を造る仮線方式を採用します。

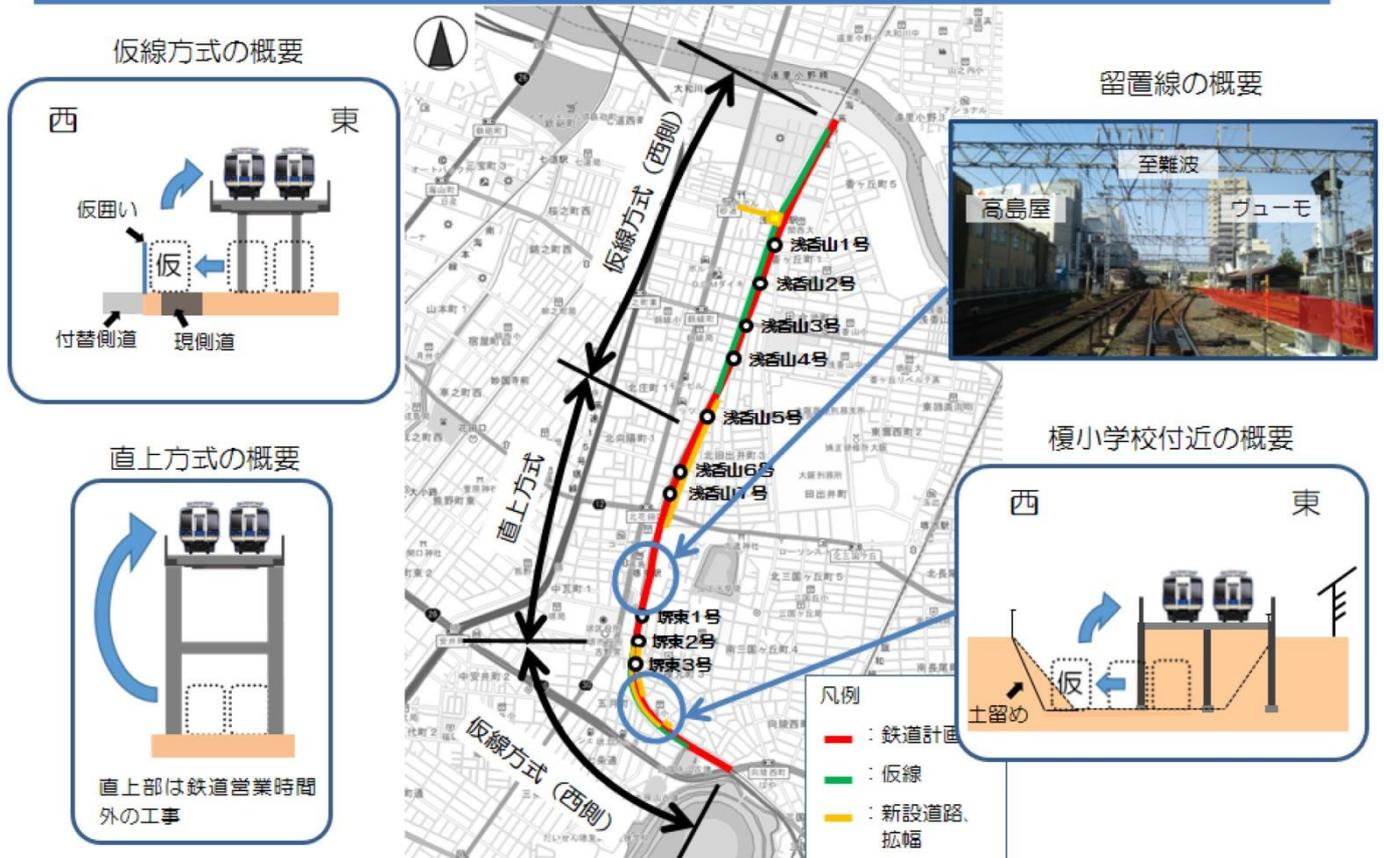
堺東駅周辺は、大型商業施設や大型集合住宅に挟まれていることから、直上方式を採用します。

直上方式は、鉄道の営業時間外に工事を行って、現在の線路の上に構造物を造る工法です。

また、高架化する鉄道は、堺大和高田線の上を超えます。



施工方法の検討状況



堺東駅の東側にある留置線から高架構造物を造るため、仮の線路は西側に造ります。

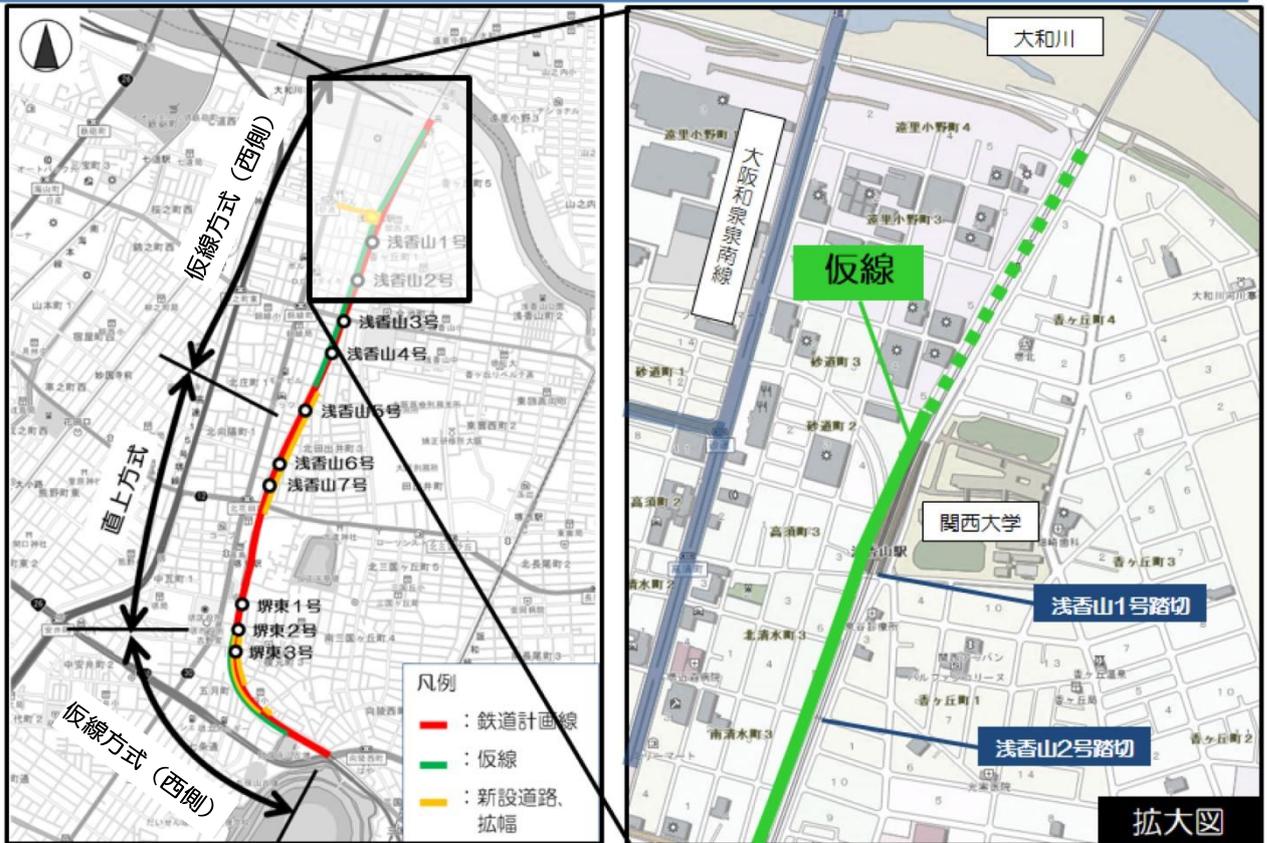
また、工事期間中は、仮線のさらに外側に工事用の仮囲いや仮の側道を設置する必要があります。

鉄道敷地に余裕がある場合はそのスペースを利用して仮線を設けます。

榎小学校付近においては、仮の線路をなるべく鉄道敷地内に設けるため、完成後の鉄道の位置は、現在より小学校側に寄ります。



大和川～浅香山駅

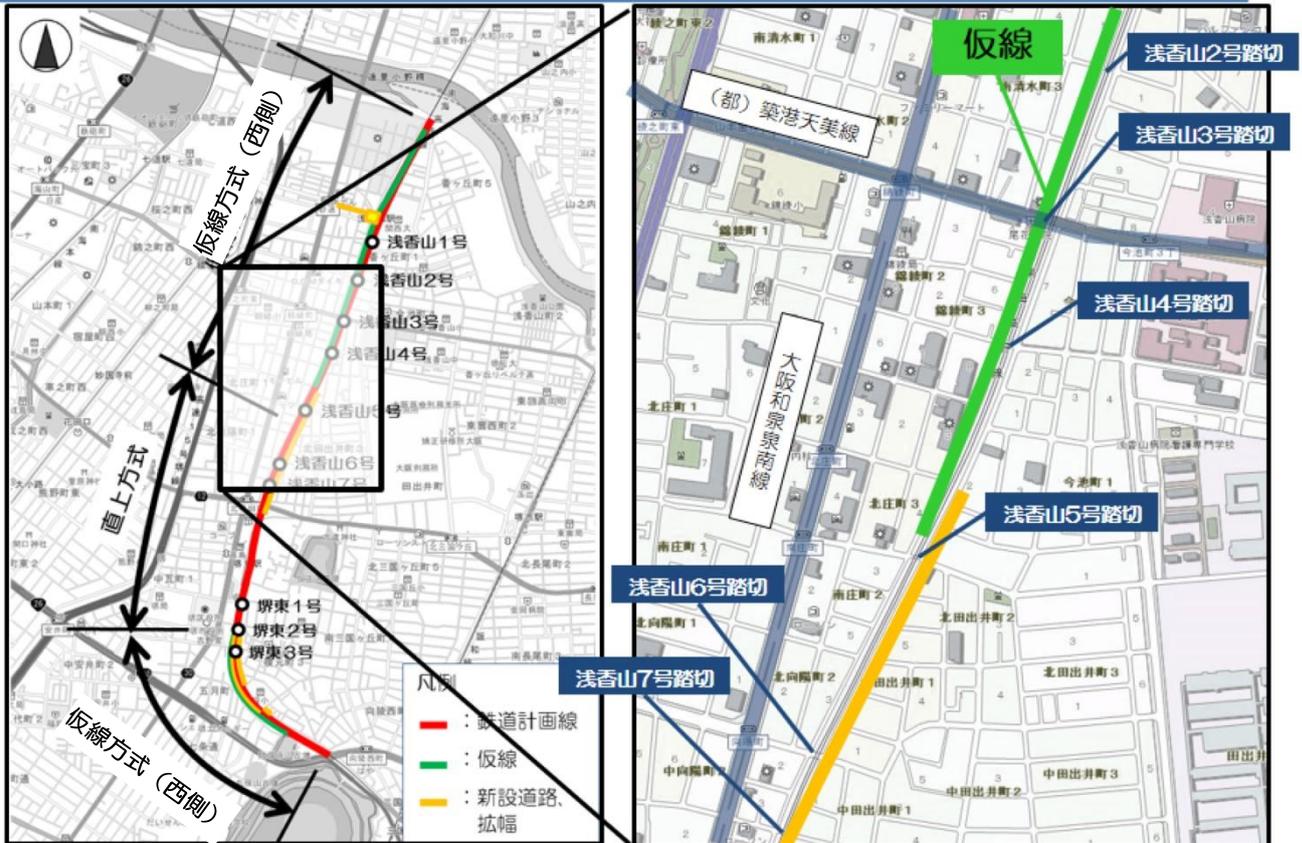


右側の図が大和川～浅香山駅付近の拡大図です。

緑色の破線の区間は、鉄道敷きの中で仮線を設けることができる区間で、実線の区間は仮線や仮側道を設置するために用地のご協力をお願いする区間です。



浅香山駅～堺東駅 ①



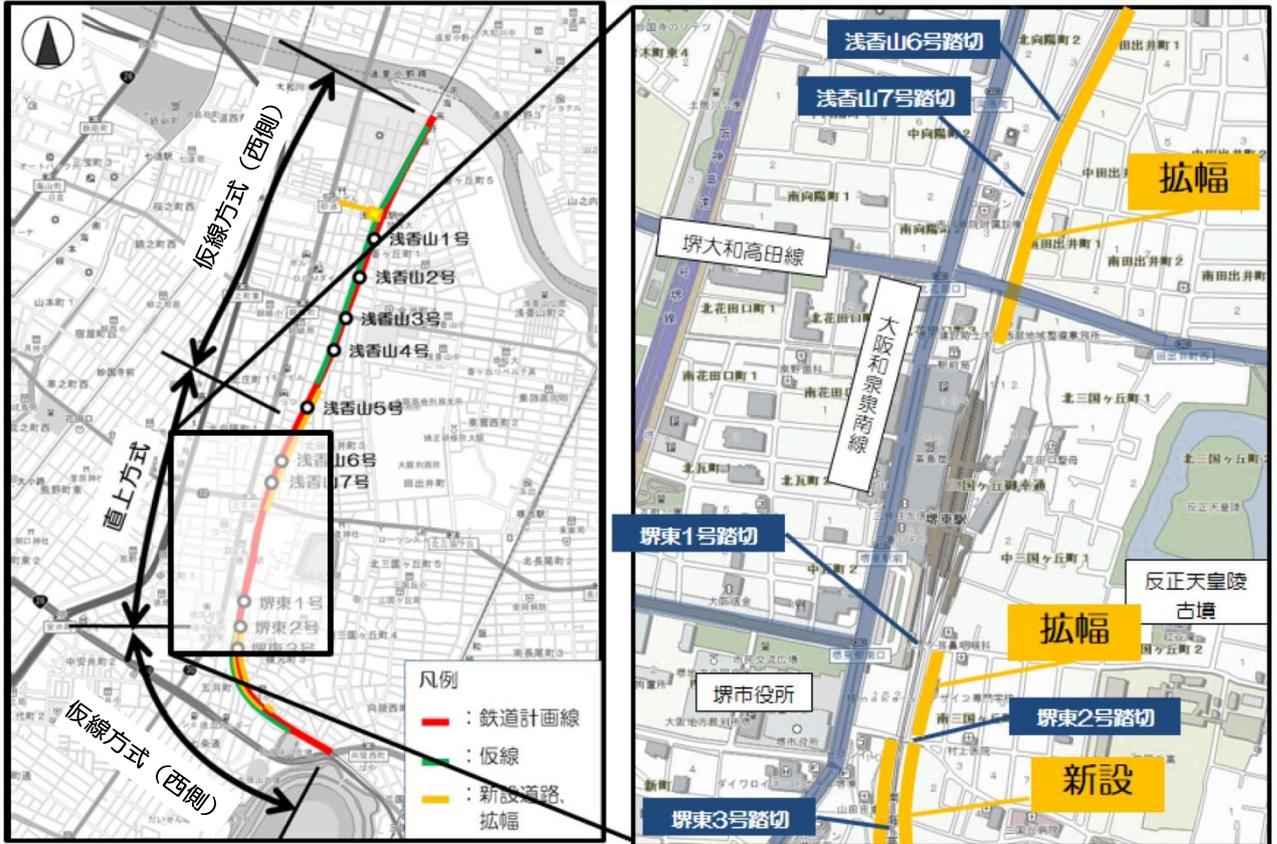
右側の図が浅香山駅～中田出井町の拡大図です。

緑色の区間は、仮線や仮側道などを設置するために用地のご協力をお願いする区間です。

黄色の区間は、現在の側道が狭いところ、或いは鉄道線形の関係から高架構造物を現在の側道に設置するために用地のご協力をお願いする区間です。



浅香山駅～堺東駅 ②

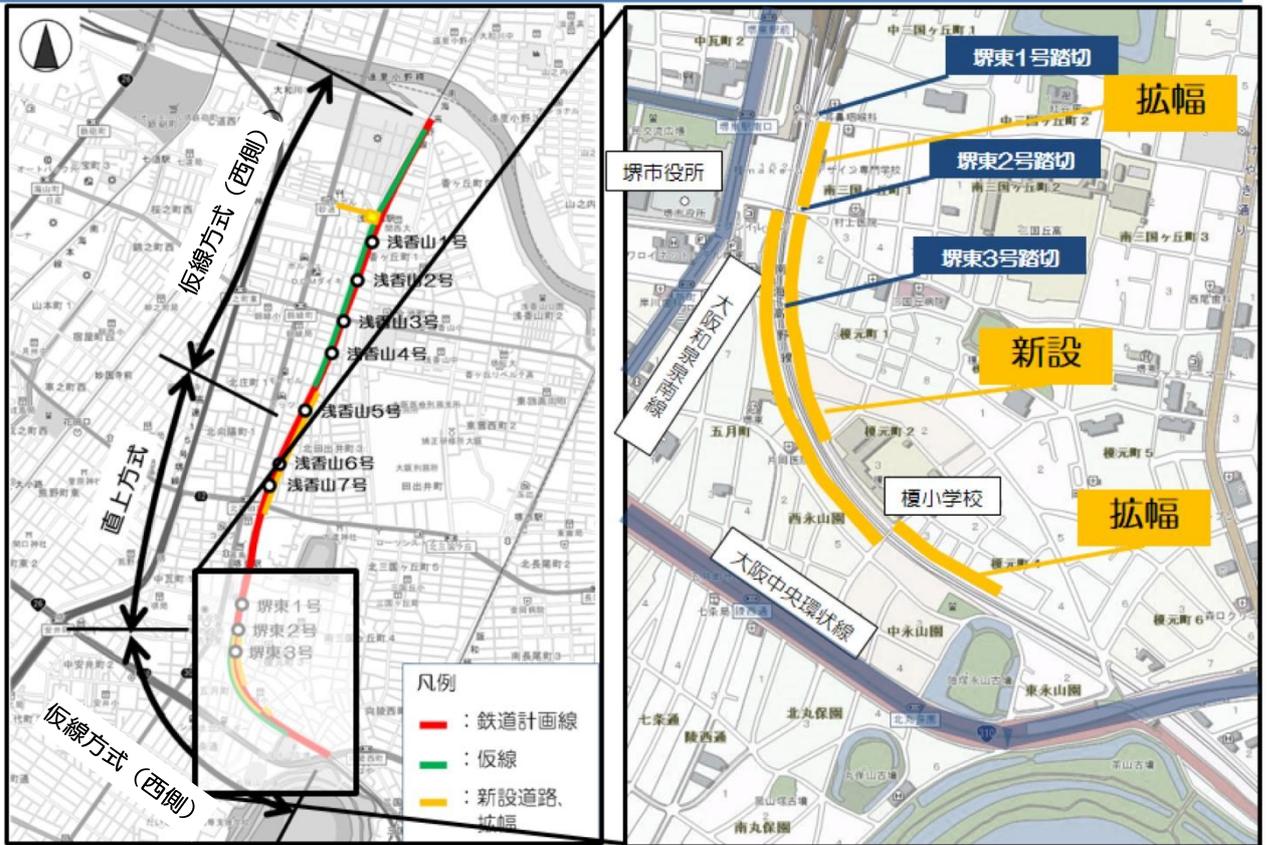


右側の図が中田出井町～堺東駅の拡大図です。

黄色の区間は、現在の側道が狭いところ、或いは鉄道線形の関係から高架構造物を現在の側道に設置するために用地のご協力をお願いする区間です。



堺東駅～中央環状線

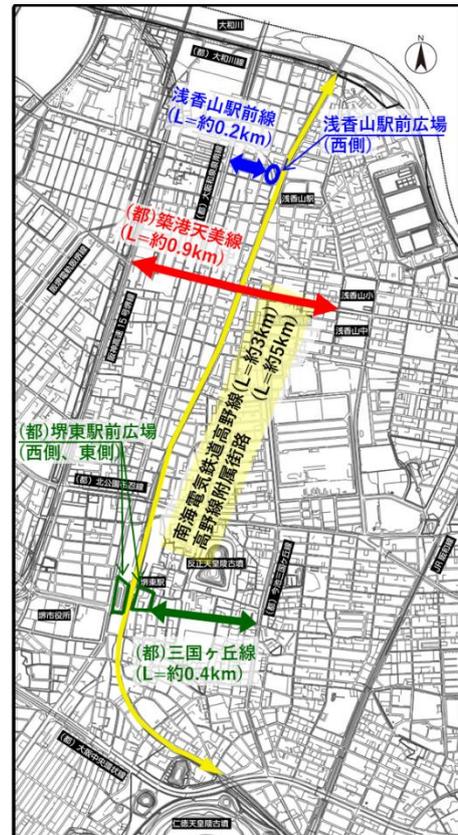
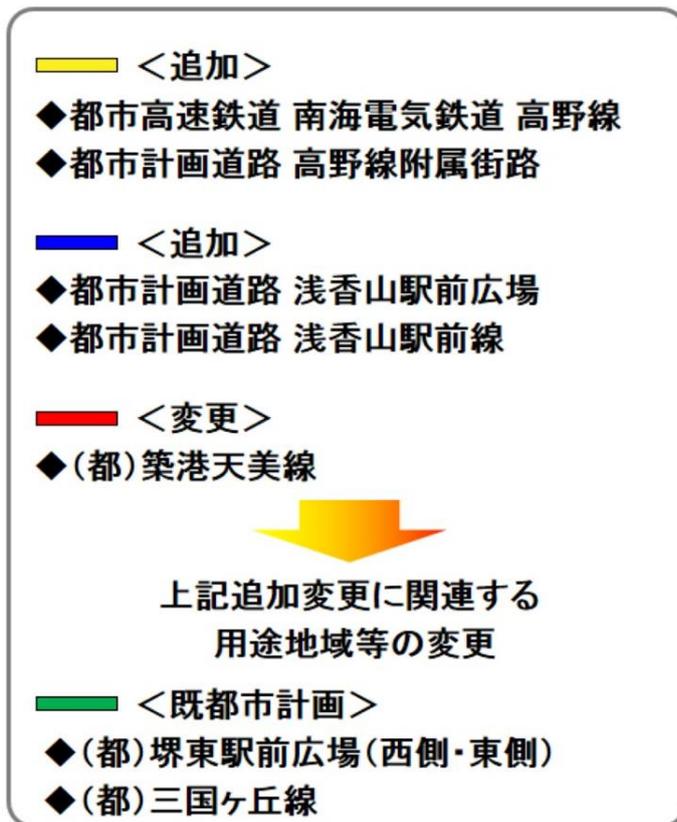


右側の図が堺東駅～大阪中央環状線の拡大図です。

黄色の区間は、鉄道高架後の環境保全を目的として、新たに道路を新設する区間、或いは施工上の都合により用地のご協力をお願いする区間です。



関連事業の計画方針



関連事業の計画方針です。

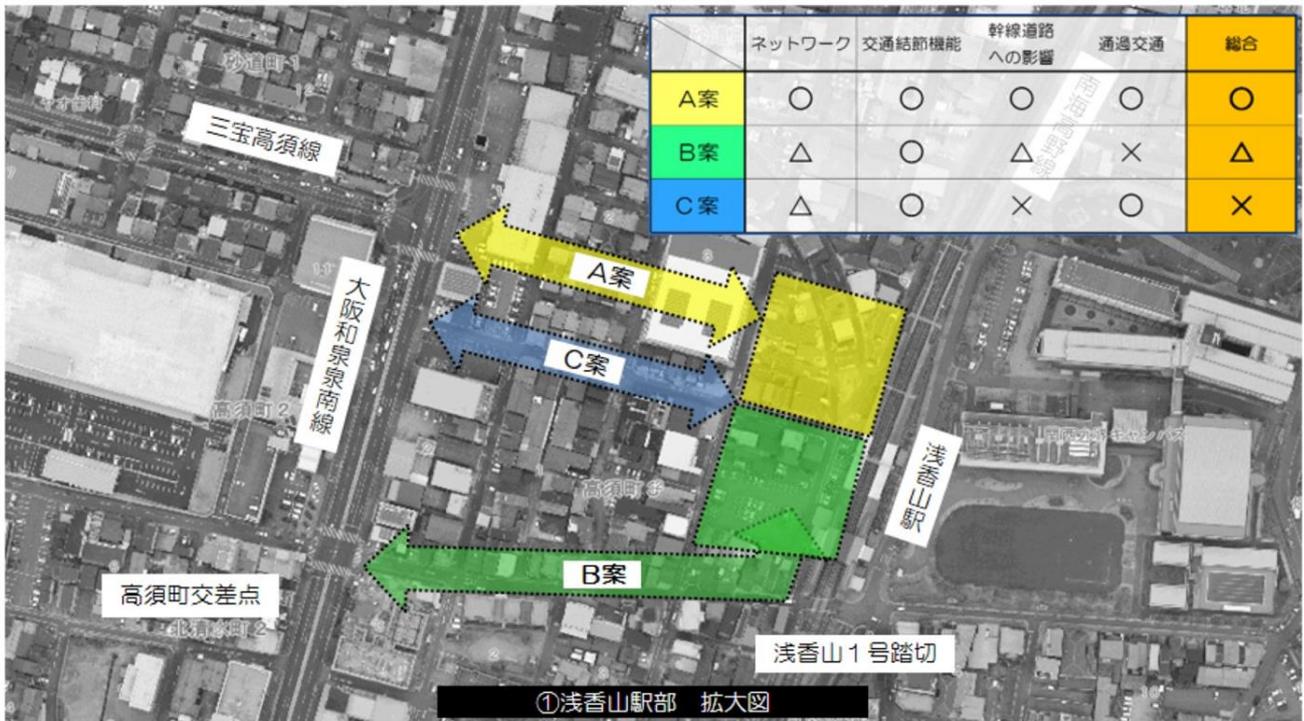
青色は、浅香山駅前広場及び浅香山駅前線の新設を予定している箇所です。

赤色の築港天美線は、既都市計画施設ですが、鉄道高架に伴って変更します。連立事業及び関連事業に伴って、用途地域の変更を予定しており、用途地域によって、高度地区、防火・準防火地域も併せて変更することになります。

緑色の堺東駅前広場と三国ヶ丘線も既都市計画ですが、今回は変更せず、後述の堺グランドデザイン2040に係る今後の意見交換を踏まえて変更の必要性を検証します。



浅香山駅周辺の計画方針



浅香山駅には交通結節機能、賑わいや防災性向上に資する駅前広場を設置します。

図は、浅香山駅前広場と駅前線の案の検討結果です。

A案：南海本線七道駅とつながる三宝高須線と直線的な道路を新設

B案：高須町交差点から踏切までの道路を拡幅

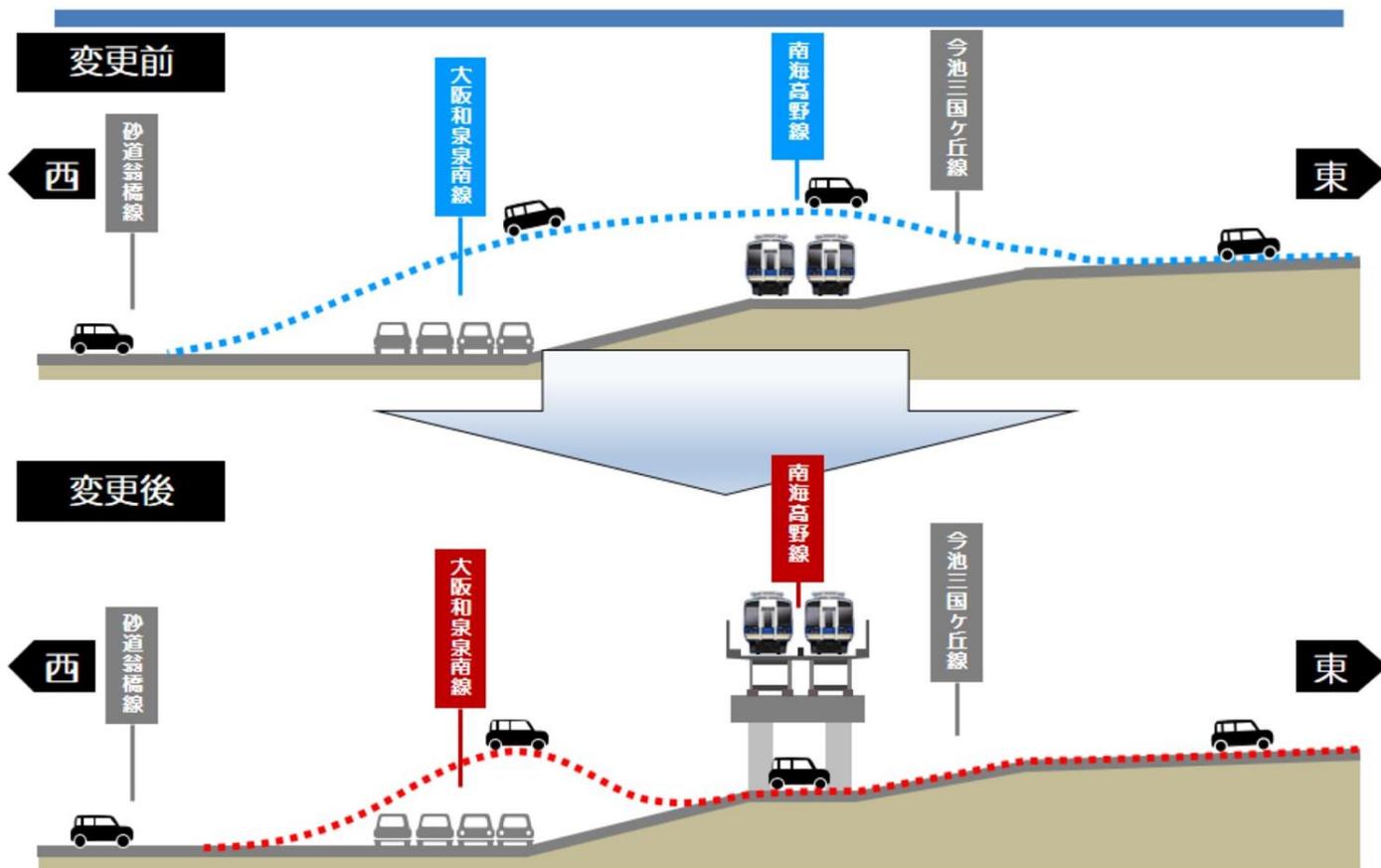
C案：A案とB案の間にある現道を拡幅

道路ネットワーク、駅前広場としての交通結節機能、大阪和泉泉南線への影響、通過交通の観点でA案にて検討を進めています。

駅前広場の規模は約2800㎡です。



(都) 築港天美線の計画変更方針



築港天美線（大堀堺線）の計画変更の概要です。

変更前：築港天美線を高架化し、今池三国ヶ丘線、高野線、大阪和泉泉南線を上越し

変更後：築港天美線を高架化し、大阪和泉泉南線を上越し



(都) 築港天美線の計画変更方針



道路幅員については、現在の道路構造令に基づいて変更する予定です。

また、大阪和泉泉南線より西側の錦綾小学校付近は、道路線形を改良するために両側拡幅に変更を予定しています。



堺東駅周辺の計画方針



ダイナミックに変わる交流拠点



魅力的な店舗が連続し、
楽しみながら歩ける空間

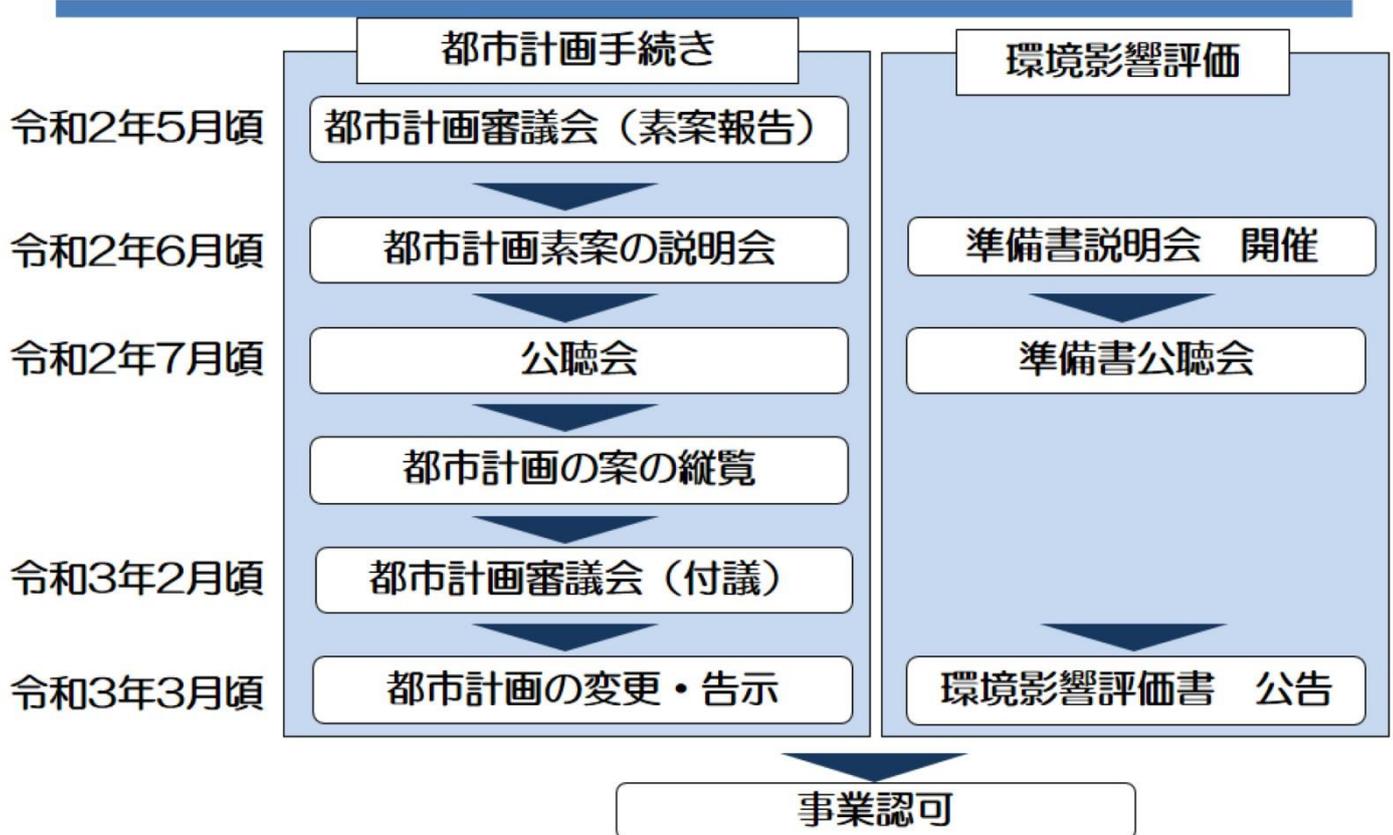
堺グランドデザイン2040より

先日公表した「堺グランドデザイン 2040」で堺の将来のあるべき姿について、今後も意見交換を行いながら検討を続ける予定です。

堺東駅前広場や三国ヶ丘線はその絵姿に応じて、既に都市計画決定されている計画を検証していきます。



今後のスケジュール



都市計画決定までのスケジュールです。

都市計画事業認可を取得した後、用地交渉や工事着手しますが、高架が完成するまでに20年程度はかかる見込みです。

沿線にお住いの方々には、長期に渡ってご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いします。

※ご不明な点などがございましたら、1ページ目の【問い合わせ先】までご連絡ください。